

共汗でつくる新「京都市動物園構想」 推進状況報告!!



『この復元模型は京都アスニーに展示しています。』

当園は平安後期の1077年に白河天皇によって建立された「法勝寺」の跡地に建てられています。

『新あとの国』建設予定地で試掘調査を行ったところ、1083年に建立された「法勝寺八角九重塔」の基礎の地盤改良の跡が見つかりました。塔の高さは推定で27丈(約81m)あったとされ、東寺の五重塔(55m)をはるかに上回り、当時日本で最も高い木造建築物であったとされています。落雷等により焼失と再建修理を繰り返し、1342年に火災で焼失しました。



今後、塔の跡は発掘調査を実施したうえで、『新あとの国』整備予定地の遺構は保存しながら整備を進めていきます。着工は秋頃の予定です。

地表からわずか20cmの深さで平安時代の地盤改良の跡が見つかりました。

できごと

誕生!



『ルナと双子 4月8日撮影』

☆ワオキツネザルに3頭の赤ちゃんが誕生しました。4月6日ルナが双子を出産し、2頭ともオスでした。名前は「キンカン」「ボンカン」です。4月12日ライチガオスの赤ちゃんを出産しました。名前は「ハッサク」です。3頭ともすくすくと育っています。



『ライチと赤ちゃん 4月13日撮影』



『パンケーキリクガメ 4月6日撮影』

☆爬虫類館では3月30日パンケーキリクガメの赤ちゃんがふ化しました。ヨツユビハリネズミが4月21日に3頭と、4月22日に4頭の赤ちゃんが誕生しました。



『ヨツユビハリネズミ 5月5日撮影』

入園料が 変わりました!!

平成22年4月1日から



入園料

一般600円・**中学生以下無料**
 団体(30人以上)500円
 年間入園券(一般)2400円

*値上げ分は京都市動物園整備基金に積み立てられ、動物園の整備のために使われます。

寄付のお知らせ



ありがとうございました

京都うずら野ライオンズクラブ様から、木製ベンチをいただきました。

東門出入口開設!!地下鉄蹴上駅から「徒歩5分」!!



★ ヤブイヌの赤ちゃん誕生～!! ★

1 ヤブイヌとは?

ヤブイヌは南米に生息している原始的なイヌ科の動物です。森林や草原などに家族単位で群れを作って生活しており、特に水辺を好みます。足の指の間に水かきを持ち、泳ぎや潜りも得意といわれています。また、危険を感じると素早く後ろ向きに走ったり、メスは逆立ちしてマーキングを行うなど変わった習性もあります。

2 ケンタとコモモ

ケンタとコモモは、よこはま動物園で2005年7月に生まれました。そして、2008年3月23日に繁殖を目的とした借受により、京都市動物園に来園しました。



『ケンタ』



『コモモ』

3 エサ

野生では、巣穴の中のアルマジロを掘り出して捕食したり、水に潜って魚を捕まえたり、ときにはカピバラなどの大型哺乳類を群れて狩ることもあります。また、果物など植物質のものも食べています。



『動物園では馬肉・鶏頭・ささみ・バナナ・蒸し人参・卵やヒヨコなどを与えています。』



4 はじめての交尾

2009年4月末に初めて交尾がありました。7月にはお腹も大きくなり、出産を心待ちにしていたのですが、予定日を過ぎても生まれません。遅いな～と思いつつも今日にでも生まれるのでは？と話していた矢先、ヤブイヌ舎に行くとなんとコモモが軽快に走っています。ついに生んだのか？いや、おかしい…生んだにしてもすぐに走り回るなんて…巣箱の中のをぞいても子供はいません。残念ながら偽妊娠だったのです。



『2009年4月29日撮影』

5 ついに!

約半年後、待ちに待った交尾が始まりました。「よし、次こそはいけるやる。こんだけ交尾してるんやから妊娠や～!」

お腹もポッコリ大きくなり出産予定日に入りました。前回の偽妊娠が思い出され不安な気持ちでしたが、2月9日休みの日の朝、相棒の松永飼育員から子供が3頭生まれたと連絡が入りました。正直ほっとしました。

『2月7日撮影』



『2月9日撮影』





気持ちが暗く・・・

やったー！と喜んだのもつかの間、急いで動物園に向かう途中、どうやら3番目に生まれた子どもの動きがなく、状態がよくなさそうだと連絡が入りました。この子はとても難産だったせいか、生まれたときから衰弱していたようで、残念ながら5日後に死亡してしまいました。

【2月25日撮影】



こんにちは赤ちゃん

残された2頭の赤ちゃんは、毛は黒く耳は垂れまだ目も開いていませんが、モソモソと動き回り、お母さんのあっぱいを元気に飲んでいきます。ケンタもコモモも赤ちゃんを優しく口でくわえてあっちに置いたりこっちに置いたり、おしりを舐めたりと大忙しですが、大切に育てています。

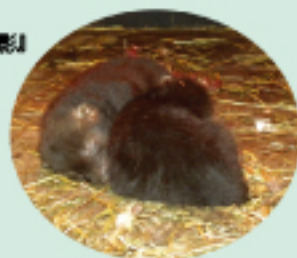
【2月28日撮影】



見たいけどひたすら我慢

コモモにとって初めての出産であり、なるべく刺激したくなかったため、直接巣箱を覗くことはせず、中に設置したビデオカメラでの観察がひたすら続きました。生後25日目初めて親子を分離し、巣箱の中の子犬の写真を撮りましたが、この時私はグラウンドでコモモとケンタの様子を観察していたので、まだ子犬たちを見ることはできませんでした。

【3月5日撮影】



グラウンドデビュー

生後40日目子犬たち2頭が、グラウンドデビューしました。

段々と外の環境にも慣れ、木の枝をくわえ振り回して遊んだり、しっかりと足取りで走り回るようになりました。グラウンドのU字溝に入ったり、植栽を咬んだりしていい感じです。今ではグラウンドを元気に走りまわっていますが、この場所は子犬たちが生まれる前に、ここでヤブイヌ親子が走りまわる姿を思い浮かべながら、土を入れて植栽を施したものです。野生のヤブイヌは、その名のとおり藪の中で生活しています。ヤブイヌには藪がびったりですね！

【3月20日撮影】



【4月10日撮影】



【4月10日撮影】



～命名～

子犬たちの名前を来園者のみなさんより募集し、オスは『やす』メスは『どすえ』に決定しました！！たくさんのご応募ありがとうございました。

【5月5日撮影】



ようやく生で子犬を見れたのは、産まれて1カ月後のことでした。可愛い小さな黒いかたまりだったのに、もうこんなに大きくなっています。今回ビデオカメラで初めて出産シーンや育児姿を観察し、父親のケンタが一生懸命に協力していたのが印象的でした。次回の繁殖時には、今回生まれた子供たちもケンタと一緒に出産、育児に協力していくことでしょう。

ちょっと変わっているけど、とっても仲良しのヤブイヌ家族をみなさん見に来てくださいね。

【4月14日撮影】

飼育担当 伊藤二三夫



200スポット 69

今回は、総務の白山広宣係長にスポットをあててみました。

白山係長にいくつか質問を投げかけてみました。

Q 出身はどちらですか？

A 愛知県です。

Q 初めて動物園に行かれたのはおいくつの頃ですか？

A 16才の頃です。

Q 京都市動物園の良いところを教えてください。

A 1周回っても疲れない広さ！

Q 来園されるお客様へのお願いは何かありませんか？

A 小さなお子様が迷子になられることが多いので、気をつけていただければと思います。

Q 総務ではどのようなお仕事をされていますか？

A 動物園の整備に関する仕事を中心です。

Q 最後にこれからの新しい動物園に向けてお客様へメッセージをお願いします。

A この4月で動物園総務課に異動してから1年が経過しました。昨年は4月にチンパンジーのお披露目式の準備から始まり、

11月に策定した共汗でつくる新「京都市動物園構想」の事務作業や11月に京都市で開催した第16回種保存会議の準備作業等の業務があり、日々仕事に追われていました。正直、動物園の仕事がこれほどたくさんあるとは予想してなかったのですが、最初は非常に戸惑いましたが、園全体の職場の雰囲気良く、まわりのサポートもあって何とかやってきました。

今年の秋には新「おとぎの国」の建設工事を開始する予定になっており、本格的に整備が始まります。リニューアルオープンする施設の完成を楽しみに頑張っていきたいと思います。

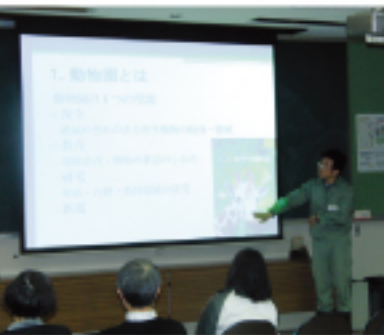


野生動物学のすすめ

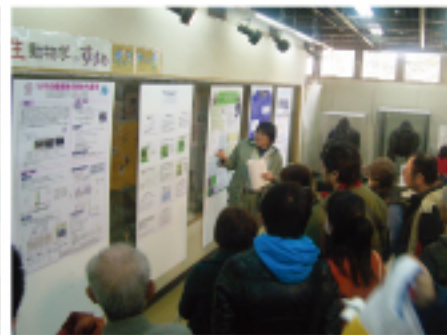
京都大学野生動物研究センター(WRC)
・京都市動物園連携2周年記念事業

3月20日から22日まで京都市動物園・京都大学野生動物研究センター(WRC)連携2周年事業「野生動物学のすすめ」を実施しました。

2年間に連携して実施してきた様々な研究を紹介するWRC教員・学生や当園職員による講演、ポスター展示を行いました。また、こども広場では野生動物の保全活動を行っているNPO・NGO活動の紹介、オープンカフェ(主催:岡崎ホールディングス)の出店も行いました。専門的な内容であるため参加者が集まるのかがどうか不安でしたが、研究に興味のある方に大勢参加していただき、また、オープンカフェも大盛況でした。



『記念講演』
講師 田中 正之 WRC准教授



『ポスター展示』
発表者 長尾充徳 飼育員



『オープンカフェ』